※ アタッチメントの取付ショベルは、仕様欄に表示しているクラスのショベルでも取り付けられない場合がございますので、ご相談ください。
● 各製品をご使用される際は、必ず取扱説明書をよくご覧になって、正しくお使い下さい。
● 機体質量3ton未満の建設機械の運転には、小型車両系建設機械（解体用）の特別教育を受ける必要があります。
また、機体質量3ton以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の（整地・運搬・積み込み及び掘削用）と（解体用）とが必要です。
● このカタログに掲載した仕様は、改良のため予告なく変更することがございます。
● このカタログに掲載した写真は、販売標準機と一部異なることがございます。

オカダ アイヨン

本社営業部
〒552-0022
大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号
☎06-6576-1273　Fax:06-6576-1516

東京オフィス
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目2番6号 東京倶楽部ビルディング13階
☎03-6268-8895　Fax:03-6268-8896

東京本店	〒175-0081	東京都板橋区新河岸2丁目8番25号	☎03-3975-2011	(Fax:03-3979-3477)
関西支店	〒552-0022	大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号	☎06-6576-1261	(Fax:06-6576-1260)
札幌営業所	〒001-0931	北海道札幌市北区新川西一条1丁目1番36号	☎011-766-2666	(Fax:011-766-2665)
盛岡営業所	〒028-3621	岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第7地割313番地	☎019-611-0080	(Fax:019-611-0078)
仙台営業所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町2丁目4番17号	☎022-352-4330	(Fax:022-352-4310)
湘南営業所	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮7丁目5番17号	☎0463-51-6984	(Fax:0463-51-6985)
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町ヨ67	☎076-254-5518	(Fax:076-254-6987)
中部営業所	〒503-0946	岐阜県大垣市浅中3丁目131番1号	☎0584-89-7650	(Fax:0584-89-7665)
広島営業所	〒733-0036	広島県広島市西区観音新町3丁目10番43号	☎082-208-0900	(Fax:082-208-0901)
四国営業所	〒791-3131	愛媛県伊予郡松前町北川原1644番1号	☎089-984-8887	(Fax:089-984-8889)
九州営業所	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川2丁目4番8号	☎092-503-3343	(Fax:092-504-0092)
海外事業所	〒552-0022	大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号	☎06-6576-1268	(Fax:06-6576-1516)

www.aiyon.co.jp
OKADA AIYON [Official]
@okada_aiyon
@okada_aiyon

2022.09

OKADA

油圧ブレーカ

TOP-J|S-J SERIES
TOP V|TOP V-SS SERIES

Hydraulic Breaker

WWW.AIYON.CO.JP

価値を高めるのは、経験と技術力。

ブレーカの先駆者

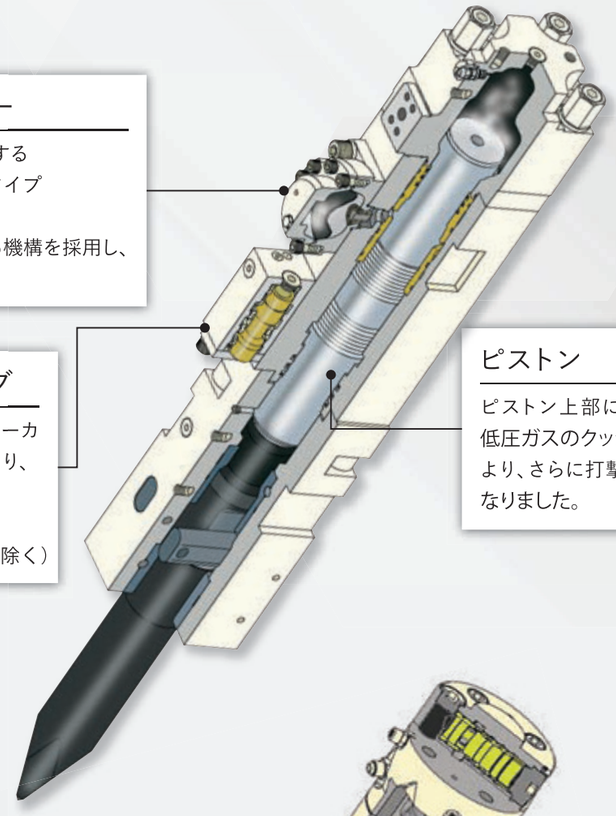
世界初の空圧ブレーカを世に送り出して60年。
半世紀に渡り、変遷する時代の要請に応じた商品を
お客様に提供し続けています。
豊富な知識と実績がモノづくりのコンセプトに深く息づいています。

信頼のサービス体制

オカダ独自のサービス体制で、地域に根差した親切な納入指導から充実のアフターサービス・迅速な部品供給まで、ネットワークを活かしつつきめ細かいサポートをスピーディーに対応いたします。

TOP-J Series

先駆者のDNAを継承し、打撃力・作業性・耐久性の
TOPを目指した油圧ブレーカの精鋭。



アキュームレーター

強力な打撃パワーを発揮する
アキュームレーター搭載タイプ
(TOP-205J～)
ショベルの負担を軽減する機構を採用し、
耐久力にも優れています。

コントロールバルブ

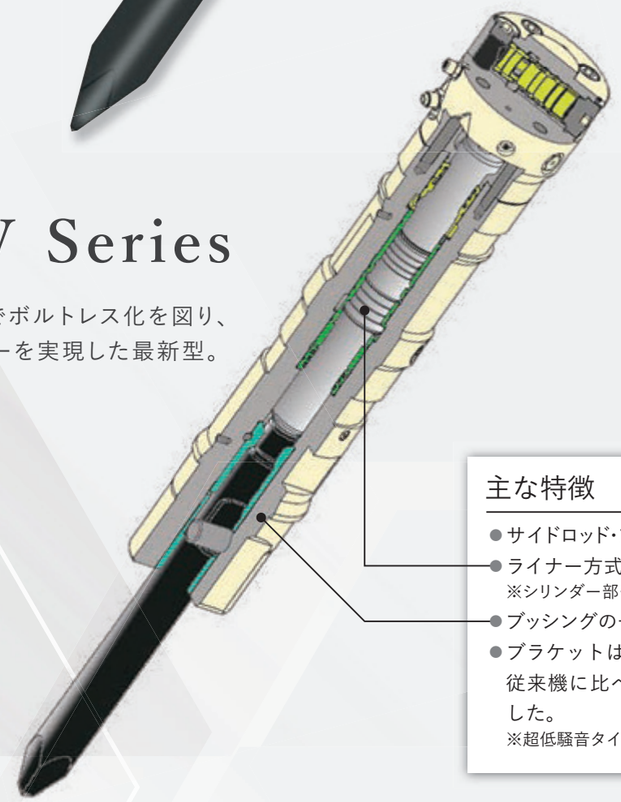
コントロールバルブをブレーカ
本体に内蔵させることにより、
構造がシンプルになり、
軽量化を実現しました。
(～TOP-70J ※TOP-43Jは除く)

ピストン

ピストン上部に封入された
低圧ガスのクッション効果に
より、さらに打撃力が強力に
なりました。

TOP V Series

円筒形状の採用でボルトレス化を図り、
メンテナンスフリーを実現した最新型。



主な特徴

- サイドロッド・フロントボルトレス
- ライナー方式の採用
  ※シリンダー部・バルブ部
- ブッシングの一体化※チゼル周り
- ブラケットは円筒形一体化を採用し、従来機に比べ静かな標準機となりました。
  ※超低騒音タイプSSシリーズもラインナップ

TOP-J Series

油圧ブレーカ　TOP-Jシリーズ

パワフルなベーシック油圧ブレーカ

強力な打撃力

強力な打撃パワーを発揮するアキュームレーターを搭載（TOP-205J～）。
また、ピストン上部に封入された低圧ガスのクッション効果により更に打撃力がアップしました。

優れた操作性

コントロールバルブをブレーカ本体に内蔵させることにより、構造がシンプルになり軽量化を実現。より操作性が向上致しました（～TOP-70J）。

抜群の耐久性

油圧ショベルの負担を軽減するオカダ独自の機構を採用しているため、耐久性に優れ、過酷な環境でも快適に作業を行っていただけます。

便利なオプション

作業環境に合わせて、縦型ブラケット・水中仕様・オートグリス・耐熱ブレーカなど様々な特殊仕様機をご用意。
また用途に応じて、チゼルもお選びいただけます。

TOP-Jシリーズ

◀ 現場動画

世界初の空圧ブレーカを世に送り出した
オカダの豊富なノウハウを生かした油圧ブレーカ

- ■ 打撃力・作業性・耐久性のTOPを目指した油圧ブレーカの精鋭
- ■ 全世界共通モデルJシリーズ
- ■ パワフルな破砕力で、大規模基礎解体・鉱山・大型砕石場などで威力を発揮
- ■ 用途や現場状況に合わせて選べる豊富なラインナップ

TOP-18J

TOP-32J

TOP-43J

TOP-205J

TOP-400J

■ TOP-Jシリーズ

小型油圧ブレーカ

中・小規模の土木工事、都市土木工事に適した小型ブレーカ。コンパクトタイプながら強力な打撃を持ち、特に狭い現場で活躍。

TOP-11J

TOP-18J

TOP-22J

TOP-32J

TOP-43J

TOP-70J

中型油圧ブレーカ

力強さと機動性を兼ね備えた中型ブレーカ。大型土木工事から、ビル解体、採石小割など様々な現場で活躍。

TOP-110J

TOP-205J

TOP-210B

大型油圧ブレーカ

パワフルな打撃力をもつ大型ブレーカ。強力な破砕力で、大規模基礎解体・鉱山・大型採石場などで威力を発揮。

TOP-300J

TOP-350J

TOP-400J

TOP-800J

TOP-1000J

■ TOP-Jシリーズ諸元表

		TOP-11J	TOP-18J	TOP-22J	TOP-32J	TOP-43J	TOP-60J	TOP-70J	TOP-100J	TOP-110J
		ノンアキュームタイプ								
総質量（ブラケット・チゼル付）	kg	80	105	150	189	260	380	420	750	850
全長（ブラケット・チゼル付）	mm	952	1071	1170	1196	1389	1461	1570	1873	1939
全幅（ブラケット先端）	mm	120	124	169	236	257	305	305	328	384
作動油圧	MPa	9-12	9-12	9-12	11-16	11-16	11-16	12-16	14-18	14-18
消費油量	ℓ/min	15-30	20-40	20-50	35-50	35-55	48-70	48-80	70-110	80-115
打撃数	bpm	800-1400	700-1200	600-1100	850-1150	600-850	740-950	730-970	550-800	550-710
チゼル径	Ømm	40	45	53	61	68	74	85	105	110
取付ショベルクラス	ton	0.5-1.2	0.8-1.5	1.5-3.5	2.5-3.5	4-5.5	5-7	5-9	9-15	10-15

		TOP-205J	TOP-210B	TOP-300J	TOP-350J	TOP-400J	TOP-800J	TOP-1000J
		アキュームタイプ						
総質量（ブラケット・チゼル付）	kg	1650	1680	2500	2600	3750	5830	6800
全長（ブラケット・チゼル付）	mm	2284	2330	2596	2777	3084	4246	4400
全幅（ブラケット先端）	mm	420	466	482	504	576	590	600
作動油圧	MPa	15-18	14-18	16-18	16-18	16-18	16-20	17-20
消費油量	ℓ/min	110-135	120-160	160-190	200-240	220-280	280-380	350-420
打撃数	bpm	360-430	310-430	370-420	300-350	250-320	260-360	200-280
チゼル径	Ømm	135	135	150	155	170	190	210
取付ショベルクラス	ton	20-23	20-23	24-30	30-41	40-50	60-80	75-100

＊TOP-205J、300Jの打撃数は、標準と高速の2段階切り替えが出来ます。TOP-205Jは高速500-560bpm、TOP-300Jは高速450-530bpmです。

S-J Series

油圧ブレーカ　S-Jシリーズ

超低騒音＆低振動を実現した油圧ブレーカ

高品質

特殊吸音・吸振ダンパーを採用しているため、耐久性が抜群。
振動の低減によりオペレーターの疲労が軽減されます。

低騒音・低振動

ボックス構造フレームの採用により、低音と共に特に不快と感じる高音の打撃音（高音波音域）の低減に成功。
静音設計により、騒音と振動の両方を抑制します。

優れたメンテナンス性

サイドロッド点検・増し締めが外から行え、交換作業も現場で短時間で可能に。
また、ブラケット側面に大きな点検口を設けることにより、修理作業などのメンテナンスが容易になりました。

便利なオプション

作業環境に合わせて、オートグリス・耐熱ブレーカなどの特殊仕様機をご用意致します。
また用途に応じて、チゼルもお選びいただけます。

S-Jシリーズ

◀ 現場動画

オカダ独自の技術で不快な高音を抑えた超低騒音油圧ブレーカ

- ■ 高品質特殊ダンパーを採用し、耐久性が抜群なうえ振動も低減するため、オペレーターの疲労が軽減
- ■ ボックス構造フレームの採用により、特に不快に感じる高音の打撃音低減に成功
- ■ 従来に比べメンテナンス性が飛躍的に向上

S-32J

S-110J

S-210B

S-205J

S-205J

■ S-Jシリーズ

S-70J　S-110J　S-205J　S-210B　S-350J　S-400J

ココがポイント!!

■サイドロッド点検・増し締めが外から行え、これまで容易でなかった交換作業も現場で短時間で可能になりました。

■ブラケット側面に大きな点検口を設けることで、修理作業などのメンテナンスが容易になりました。

❶サイドロッドの点検・増し締めが外から可能に

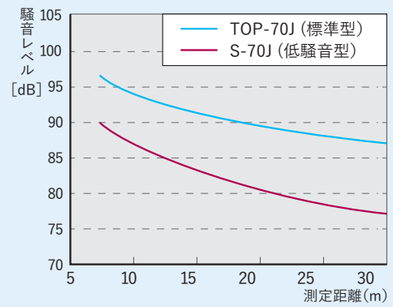
❷メンテナンスがしやすい大きな点検口（S-110J以上）

■ S-Jシリーズ諸元表

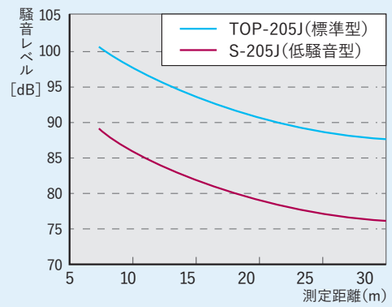
		S-32J	S-43J	S-70J	S-110J	S-205J	S-210B	S-350J	S-400J
総質量（ブラケット・チゼル付）	kg	215	285	450	1100	1870	1935	2945	4150
全長（ブラケット・チゼル付）	mm	1246	1439	1776	2144	2483	2581	3024	3337
全幅（ブラケット先端）	mm	200	212	254	346	418	418	488	524
作動油圧	MPa	11-16	11-16	12-16	14-18	15-18	14-18	16-18	16-18
消費油量	ℓ/min	35-50	35-55	48-80	80-115	110-135	120-160	200-240	220-280
打撃数	bpm	850-1150	600-850	730-970	550-710	360-430	310-430	300-350	250-320
チゼル径	Ømm	61	68	85	110	135	135	155	170
取付ショベルクラス	ton	2.5-3.5	4-5.5	6-9	12-15	20-23	20-23	30-41	40-50

＊2021年3月31日をもちまして、超低騒音油圧ブレーカSシリーズのNETIS登録は終了いたしました。
＊S-205Jの打撃数は、標準と高速の2段階切り替えが出来ます。高速は500-560bpmです。

S-70J 騒音レベル比較［dB(A)］



S-205J 騒音レベル比較［dB(A)］



＊騒音レベルは当社の基準により測定したものであり、実際の作業時には異なる場合があります。

TOP V/V-SS Series

油圧ブレーカ　TOP V/V-SSシリーズ

オカダの最新型油圧ブレーカ

静音設計

都市土木で求められる「静かな標準機」をコンセプトにTOP Vシリーズが誕生。TOP V-SSシリーズは、更に静音性を高めたハイスペックモデルです。

優れたメンテナンス性

フロントボルト・サイドロッドが不要になったことで、増し締めや折損のリスクがなくなり、メンテナンス性が向上致しました。

デザインの一新

従来のブレーカ形状を一新し、欧州風の丸型を採用した斬新なデザイン。
よりスリムでコンパクトになったことで、操作性が向上しました。

最新テクノロジー

TOPシリーズで培った技術を活かし、効率や生産性を徹底追求。
オカダの最新テクノロジーを集結させた今までにない油圧ブレーカです。

TOP V/V-SSシリーズ

◀ 現場動画

都市土木のニーズに対応した
最新型油圧ブレーカ

- ■ オカダのテクノロジーを集結した最新型
- ■ 都市部での使用を想定した静音仕様
  TOP V-SSは更に静音性を追求したハイスペックモデル
- ■ スタイリッシュなデザインでありながら、メンテナンス性が向上し、より使いやすくなりました
- ■ フロントボルト、サイドロッドが不要になり、増し締めや折損のリスクが低減
  従来機に比べ、格段にメンテナンス性が向上しました

TOP V-50

TOP V-50

■ TOP V(SS)シリーズ

TOP V-30

TOP V-50

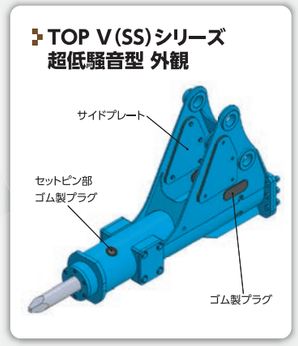
TOP V-70

TOP V-100

TOP V-30SS

TOP V-50SS

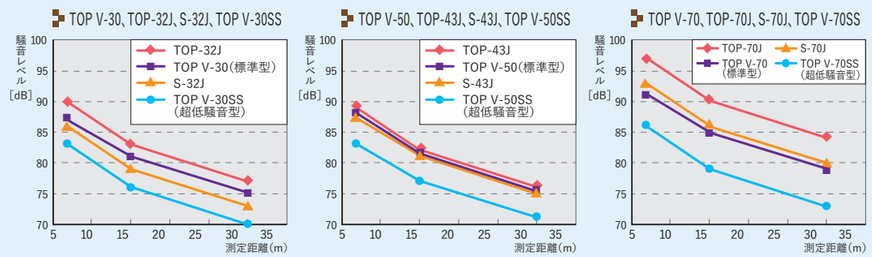
TOP V-70SS



■ TOP V(SS)シリーズ諸元表

		TOP V-30	TOP V-50	TOP V-70	TOP V-100	TOP V-30SS	TOP V-50SS	TOP V-70SS	TOP V-100SS
総質量（ブラケット・チゼル付）	kg	220	285	380	775	248	314	425	822
全長（ブラケット・チゼル付）	mm	1326	1509	1572	1978	1326	1509	1572	1978
全幅（ブラケット先端）	mm	195	215	225	275	240	240	290	380
作動油圧	MPa	11-16	11-16	11-16	14-18	11-16	11-16	11-16	14-18
消費油量	ℓ/min	35-50	35-55	48-70	70-110	35-50	35-55	48-70	70-110
打撃数	bpm	850-1150	600-850	740-950	550-800	850-1150	600-850	740-950	550-800
チゼル径	Ømm	60	68	74	105	60	68	74	105
取付ショベルクラス	ton	2.5-3.5	4-5.5	5-7	9-15	2.5-3.5	4-5.5	5-7	9-15

TOP V(SS)シリーズ、標準型、超低騒音型との騒音値（TOP、Sとの比較）



- ●TOP Vシリーズ超低騒音型は、Sシリーズよりも騒音値が低い。
- ●TOP V-30、50標準型はSシリーズよりも騒音値が高いがほぼ同程度。
- ●TOP V-70は標準型でもS-70Jよりも騒音値が低い

※騒音レベルは当社の基準により測定したものであり、実際の作業時には異なる場合があります。

特殊仕様

油圧ブレーカは様々な特殊仕様に対応しております。
作業環境に合わせてご要望ください。

■ 縦型ブラケット

各機種・使用用途に合わせて
対応いたします。

■ 水中仕様

ブレーカ内部にコンプレッサーでエアーを供給し、水の侵入を防ぐことにより、水中での破砕作業が行えます。(TOP-110J～800J)
※エアーコンプレッサーが必要です。

■ オートグリス

電気配線を必要とせず、TOP-110J以上に取り付ける事ができ、チゼルやブッシングの長寿命化を図り、メンテナンスのための休止時間を削減します。取付ショベルを選ばず、稼働時間中だけ給脂します。(TOPV-100は除く)
※市販のカートリッジグリスを使用可能

■ 耐熱ブレーカ

● 耐熱塗料に変更
高温からブラケット・本体を保護するため、特殊塗料で塗装

● 耐熱仕様のホースに変更
高温に晒されるホースを保護するため、耐熱用に特殊加工を施したホースを使用

多彩なチゼル

用途に応じて、様々なタイプのチゼルをお選びいただけます。
(内部部品の損傷を防ぐため、純正チゼルをご使用ください。)

Pポイント

Eエンド

FXフラット(ヨコー文字)
EXフラット(タテー文字)

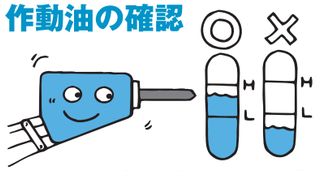
芯入り

特殊チゼル
(杭打ち)

◎油圧ブレーカ 使用時のご注意

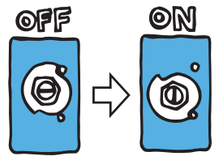
保管時・始業前に下記の事項を必ず行ってください。

作動油の確認



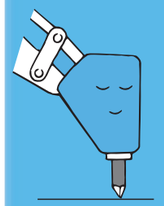
●始業前に、作動油が入っているか、汚れていないか確認してください。
●作動油は600時間毎、オイルフィルターは100時間毎に交換してください。

ストップバルブの確認



バルブは必ずONに合わせてください。

保管時はチゼルを下向きに



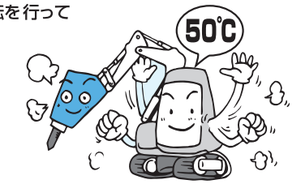
作業終了時は、雨水によるサビからピストン・シールを保護するため、チゼルを下に向けて保管してください。

ブレーカ内部の雨水滞留は危険!

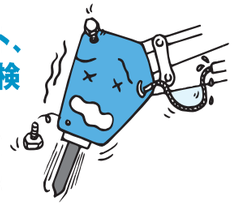
暖機運転をしてください

ブレーカ使用時の適正油温範囲は50～80℃です。

ブレーカを初めて使う時や、毎始業時には、10分程度垂直に、7割程度のエンジン回転数で、ならし運転を行ってください。



ボルト、ナット、ホースの点検

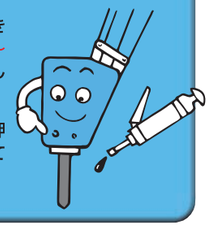


ボルト、ナット、ホースがしっかり取り付けられていることを確認してください。

※ボルトの締付けは交互対角・均等に行ってください。

グリスアップをしてください

●作業中は2時間おきに、チゼル部に5～6回グリスアップしてください。
●チゼルはしっかり押し込んでから入れてください。

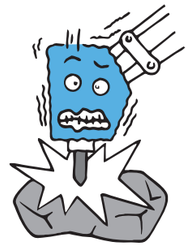


【 好評発売中 】
オカダ アタッチメント グリース NLGI No.2
アタッチメントに専用グリスが、オカダアイヨンから登場です。
大切なアタッチメントだからこそアタッチメントに、ご褒美!
作業がより効率的と、修理費用の軽減に一役買います。

下記の事項を必ず守って作業してください。

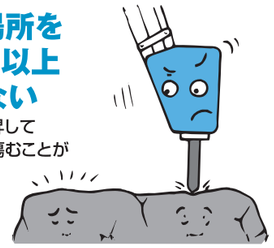
破砕物に急激に当てない

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



同じ場所を1分間以上打たない

油温が上昇してシールが傷むことがあります。



フロントキャップを水や泥などにつけない

※水中使用時は改造が必要です。

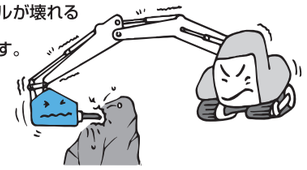
ショベルもブレーカも壊れることがあります。

連続して押力を加える

チゼルが抜けると打撃できません。

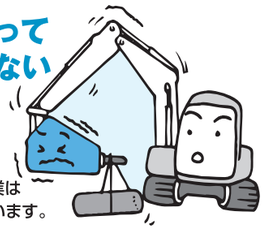
ストロークエンドにして打たない

ショベルが壊れることがあります。



物を吊って作業しない

クレーン作業は禁止されています。



割れたらすぐにストップする

空打ちが多すぎると各部が傷みます。

こじりながら打たない

チゼルが折れることがあります。